7	1番　　下　町　　純　子　　議員 ①　本町でできるゼロカーボンへの取り組みについて 　日本は四季がある国と言われていますが、年々夏が長くなっていくのを感じます。特に今年は例年より梅雨明けが早く、その後は毎日が真夏日となり、３５度を超える猛暑日の記録を更新した地域がたくさんありました。降水量が少なく農作物に影響が出ましたが、一変して災害をもたらすほどの大雨が降り、甚大な被害が出た地域もありました。 　また、熱中症で搬送される人が多く、暑さが命に直接関わるということを自分ごととして感じました。今年の夏は例年以上に地球温暖化が進んでいるということを現実のものとして感じた人は多いのではないでしょうか。 　気候変動の原因とされている温室効果ガスは経済活動・日常生活に伴い排出されています。企業が排出するよりも国民一人一人の日常生活に起因する温室効果ガスの方が多いという説もあるそうです。しかしながら個人の生活の中では何をすればいいのか分からないし、実感できないというのが正直なところです。 　本町は「ゼロカーボンシティ共同宣言」を行っています。脱炭素社会実現のための効果的な取り組みを行うために長崎市・時津町と共同して「地球温暖化対策実行計画」を策定しています。 　本町では具体的にどのような取り組みをしているのか、町内の事業者や町民はどのようなことができるのか、温室効果ガスを削減するための対策をお尋ねしたいと思います。 （１）本町ではゼロカーボンへの取り組みとしてどのようなことをしていますか。 （２）事業所や店舗に対してどのような指導や助言をしていますか。 （３）家庭でできる身近なゼロカーボンへの取り組みはどんなことがあると考えていますか。 （４）以前、総務厚生常任委員会から提出した提言書で「宅配ボックス・バック」の活用を推進する取り組みを提案しています。「宅配ボックス・バック」は再配達を減らし、温室効果ガスの削減に有効だと考えますが、町として今後取り組む考えがありますか。